

セニングは縦スライスで行う

テクニック 1. カットラインに平行にセニング

テクニック 2. 上側の毛が長く下側は短くセニング

テクニック 3. 上側の毛が短く下側は長くセニング

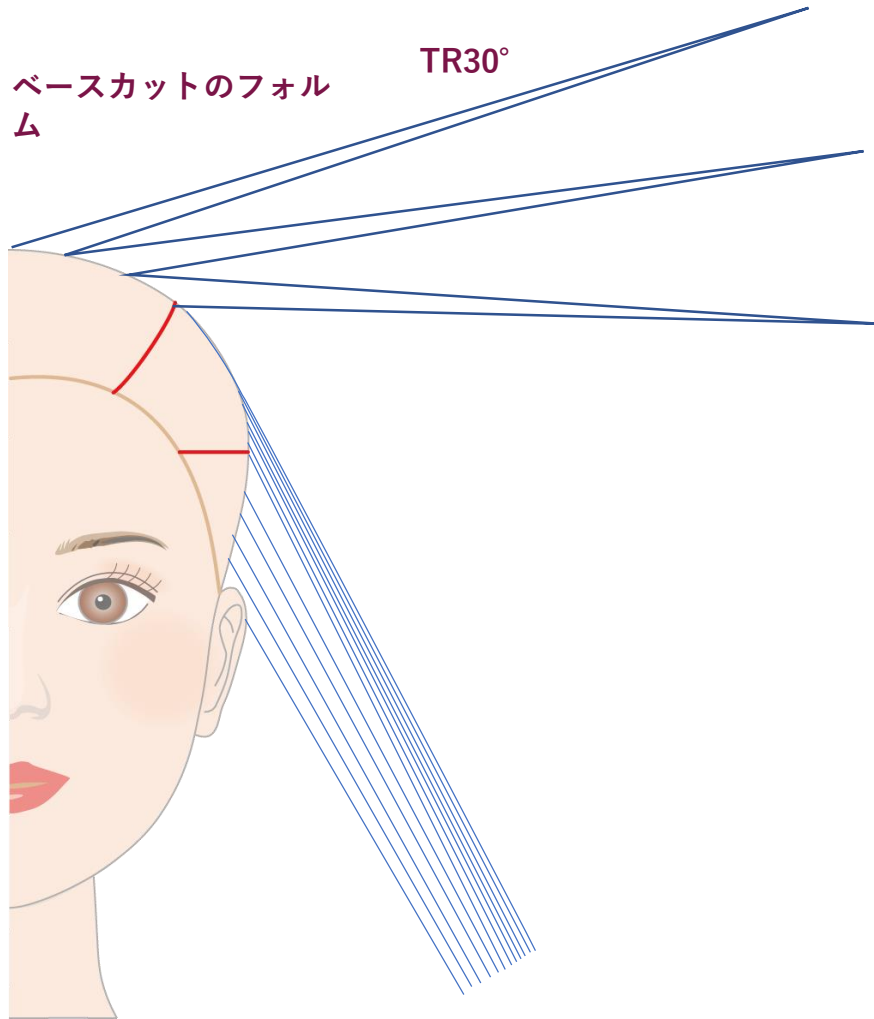
ゾーン意識して立体的にカットします

※注意事項

セニングは経験と感の仕事です、明快な考え方（法則）をもって経験を自分の物にして下さい

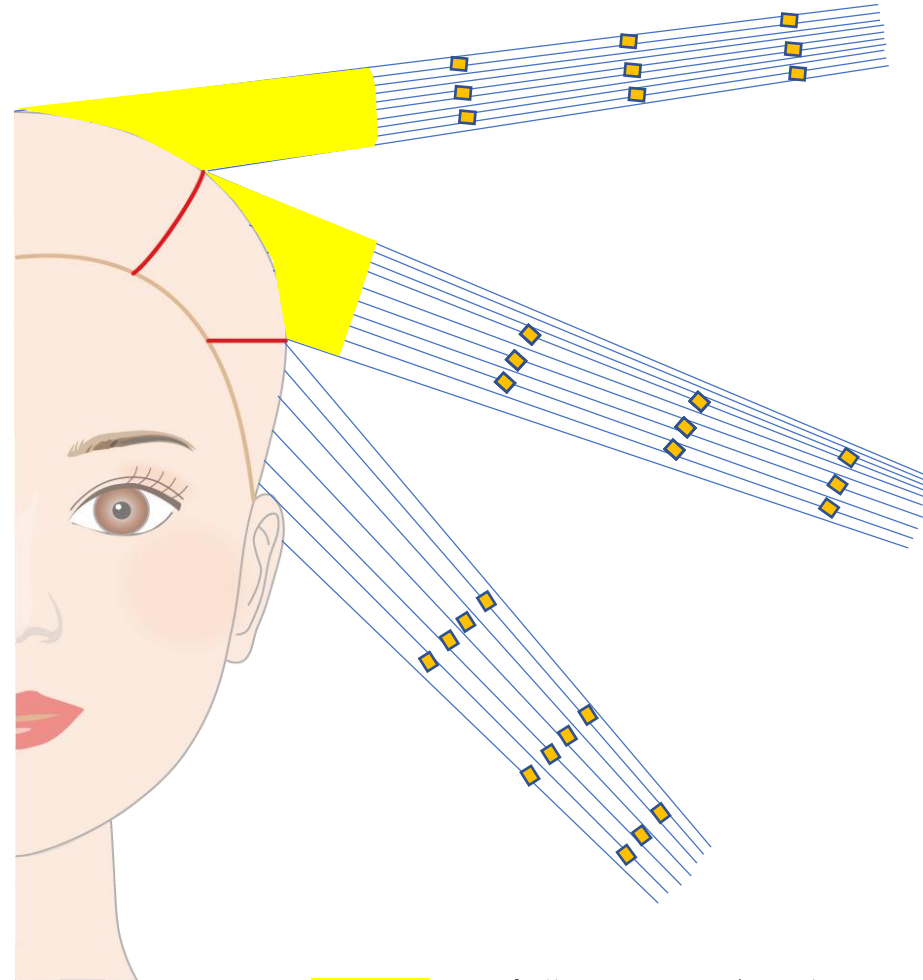
- ・持ち上げる角度はフォルムを意識し持ち上げる
持ち上げ過ぎない、インサイドレイヤーとなってフォルムが壊れます
- ・頭に対してのハサミを入れる角度は意識している
- ・セニングはインナーフォルムとなりますのでブラントで作ったフォルムに影響します

■ ■ ■ カットラインに平行にセニング



ST30°

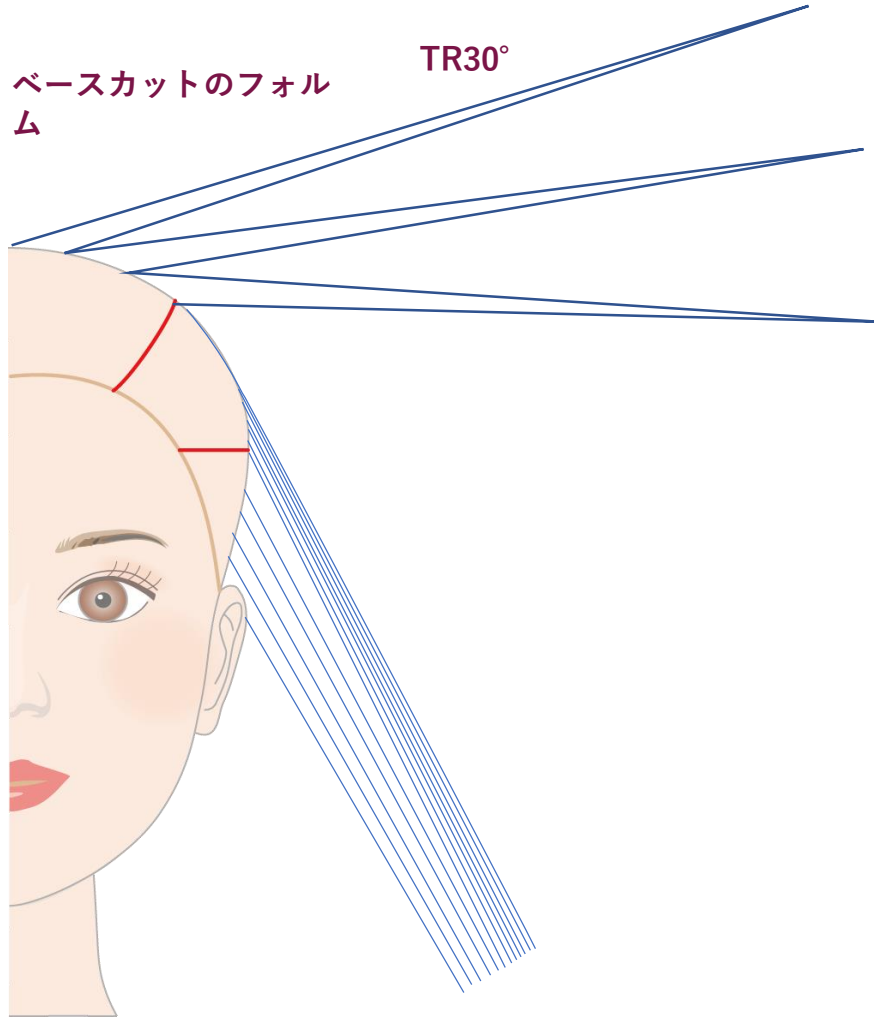
効果：毛量が均等に取れます、
多く入れすぎるとフォルムの毛は少なくなりすぎます



この部分へのセニングは用心してする事、立ちやすい所です、
基本はドライしてからのカットを薦めます

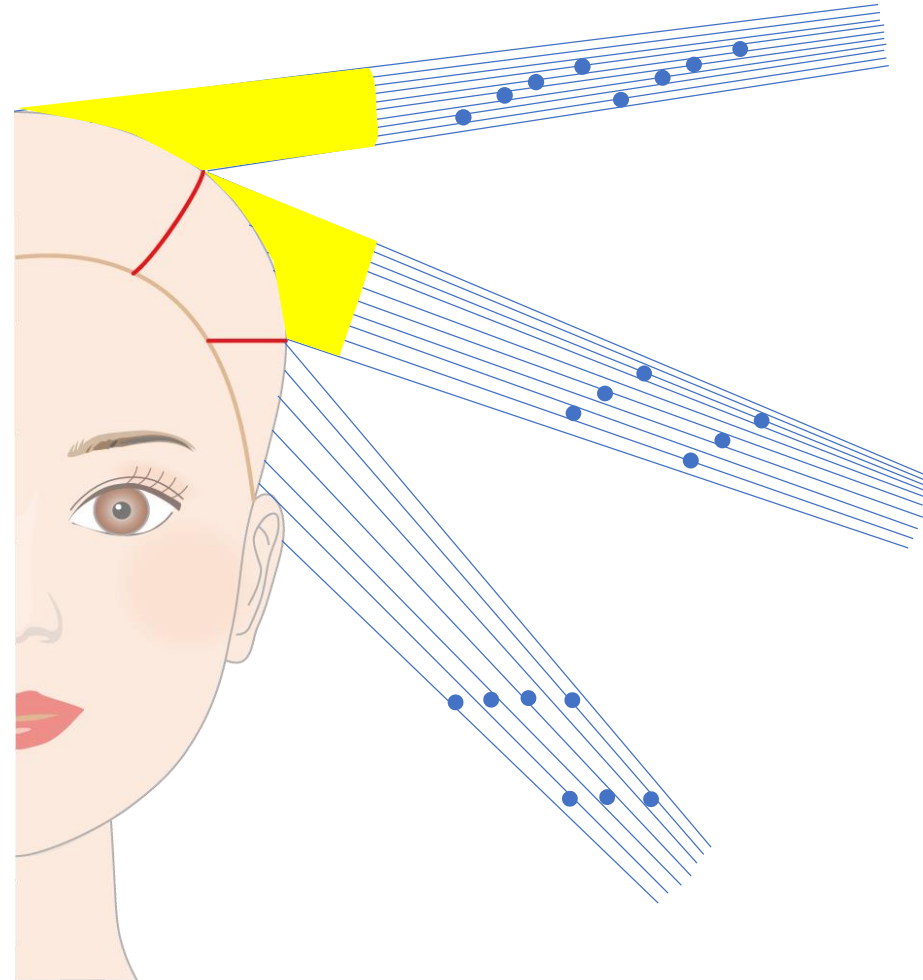


●●● 上側の毛が長く下側は短くセニング



S T 30°

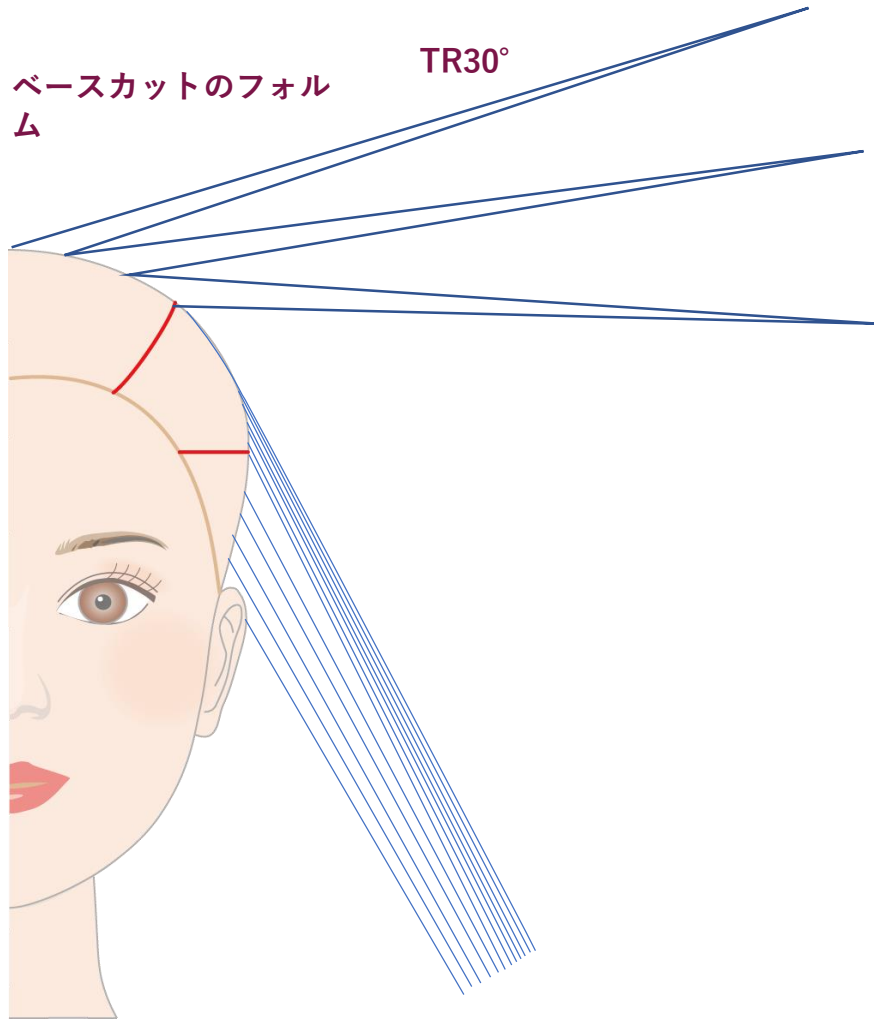
効果：上側のセニングのスタート点からフォルムの補正が出来ます
収まりやすい、毛先のラインに対する角度で毛量調整とフォルムの補正が容易にできます。



この部分へのセニングは用心してする事、立ちやすい所です、基本はドライしてからのカットを薦めます

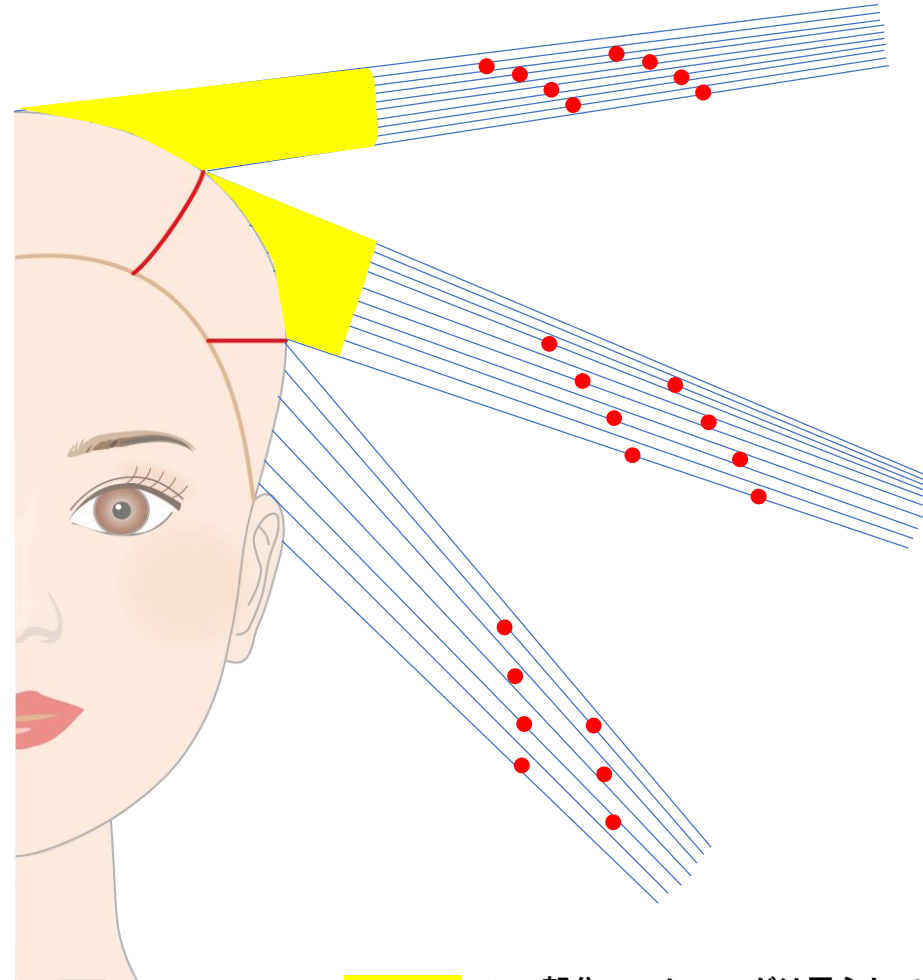


上側の毛が短く下側は長くセニング



S T 30°

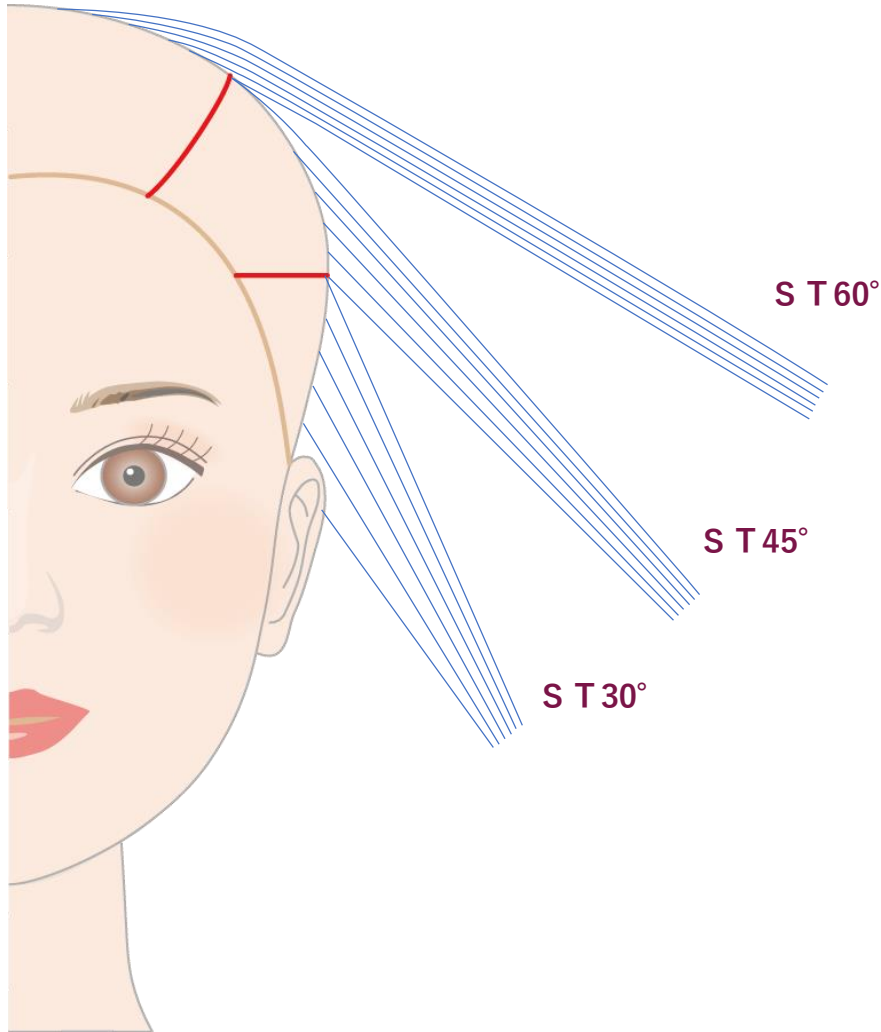
上部が動きやすくなります、毛先のラインに対する角度で毛量調整とフォルムの補正が容易にできます。



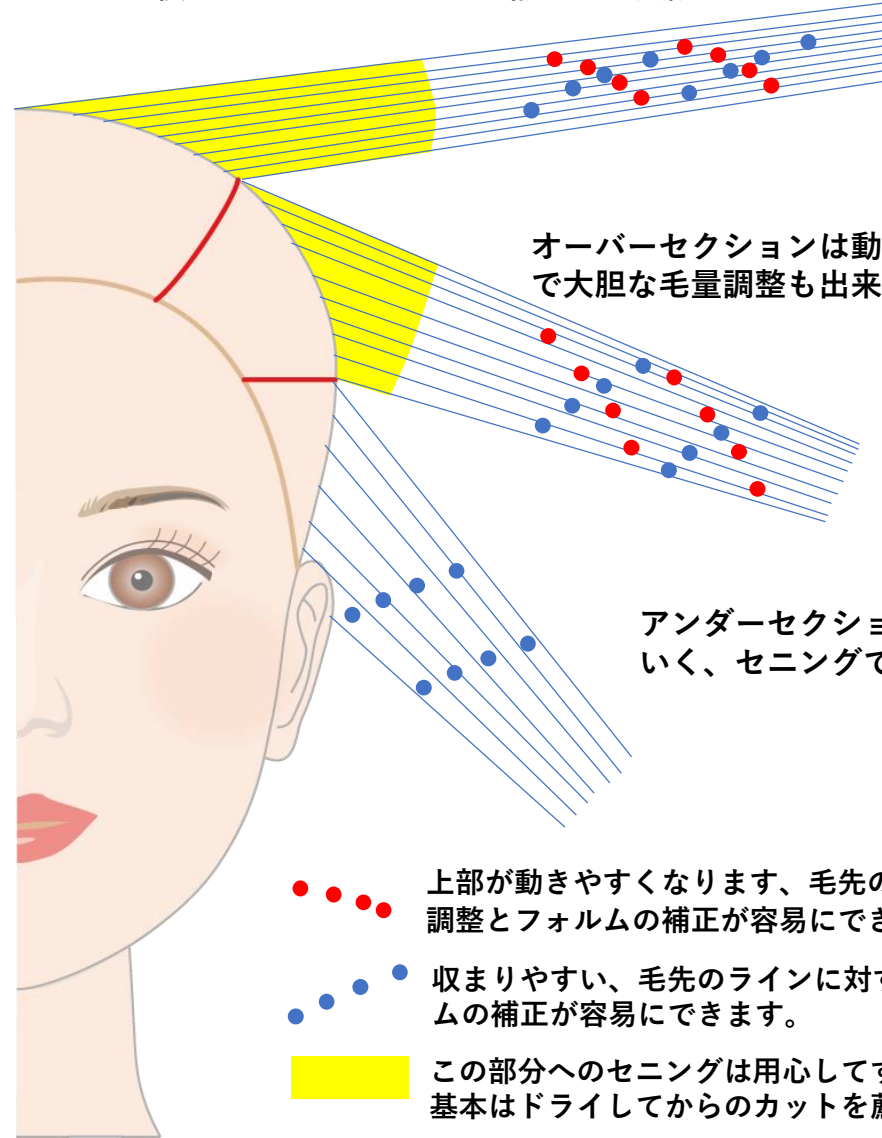
この部分へのセニングは用心してする事、立ちやすい所です、基本はドライしてからのカットを薦めます



ベースカットのフォルム



トップセクションは通常、動きやすい場所ですので慎重にカットでフォルム補正と毛量調整します



オーバーセクションは動きが出やすい所で大胆な毛量調整も出来ます

アンダーセクションは通常、内に収まりやすい、セニングで毛量調整します

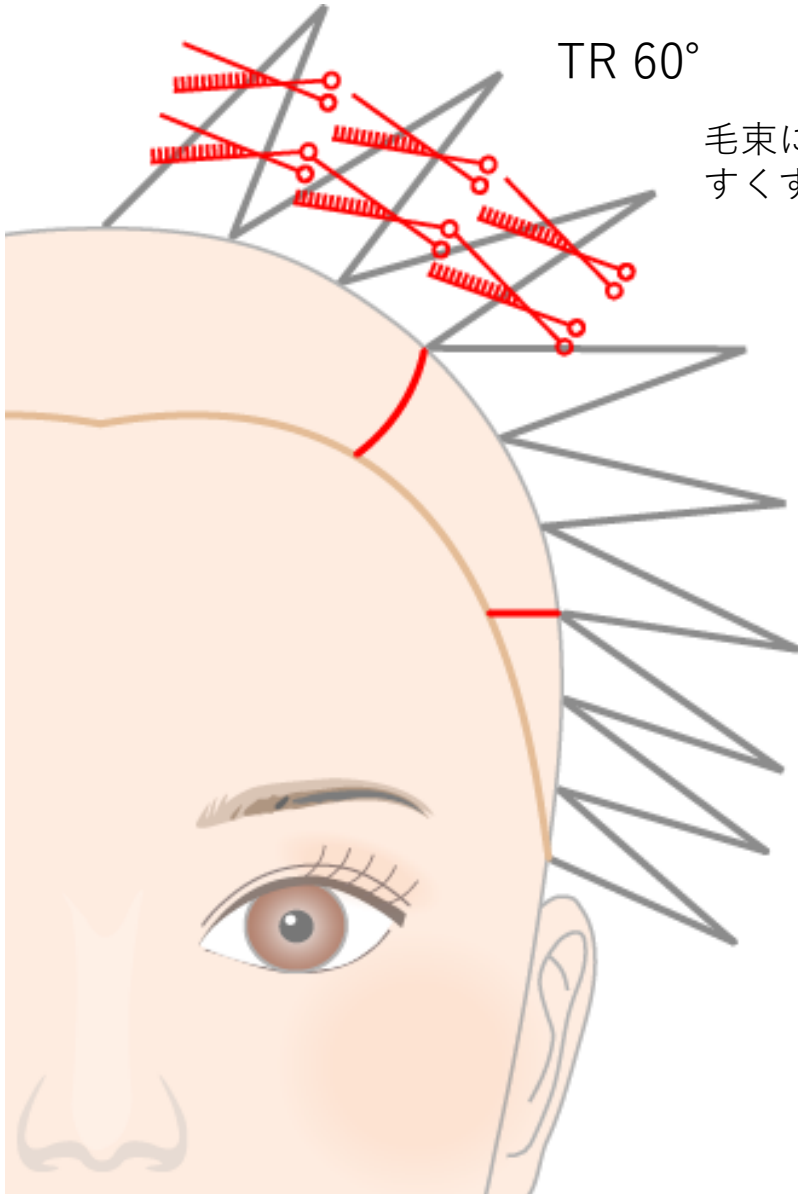
- ● ● ● 上部が動きやすくなります、毛先のラインに対する角度で毛量調整とフォルムの補正が容易にできます。
- ● ● ● 収まりやすい、毛先のラインに対する角度で毛量調整とフォルムの補正が容易にできます。
- この部分へのセニングは用心してする事、立ちやすい所です、基本はドライしてからのカットを薦めます



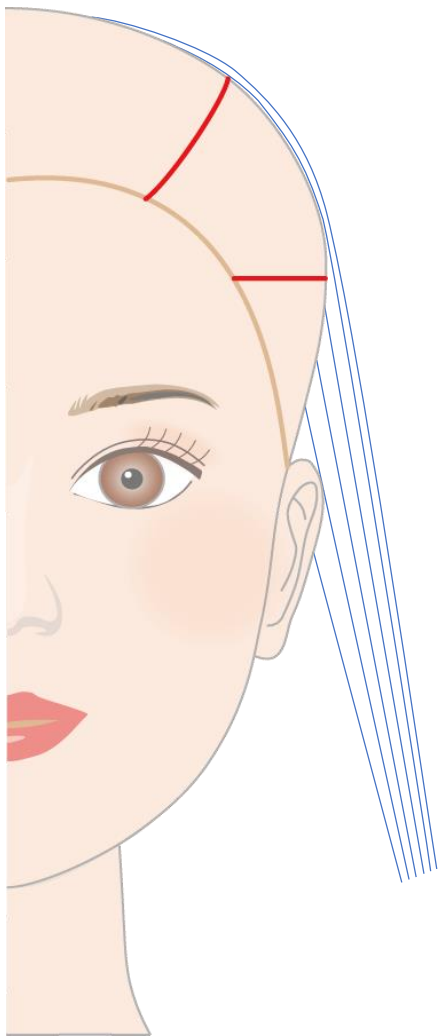
ショート セニング（毛量調整）

TR 60°

毛束に対して下部、中間、毛先に2, 3回セニングと入れて立ちやすくする、引っ張る角度はTR 60° に垂直に（均一に入れる）

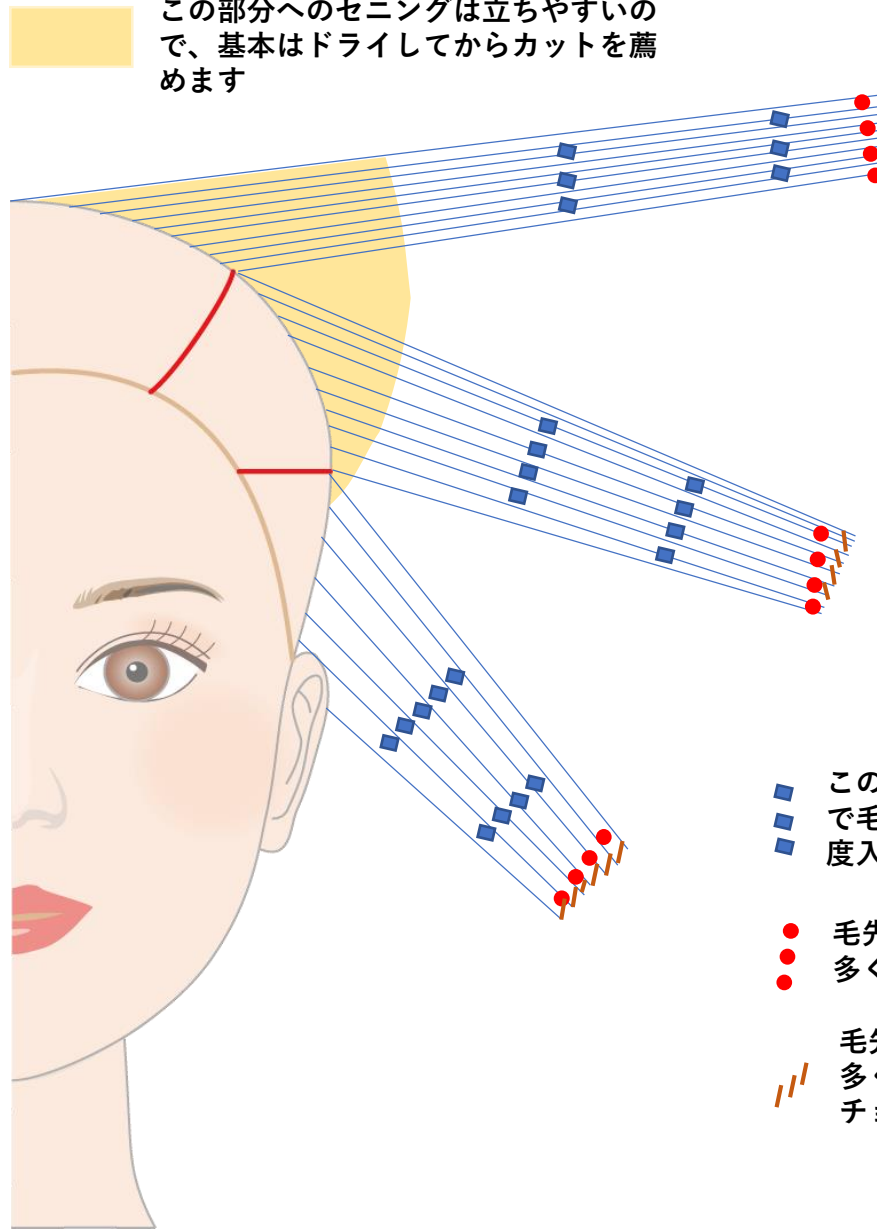


ベースカットのフォルム S T 15
+毛先ハネ



S T 15°

この部分へのセニングは立ちやすいので、基本はドライしてからカットを薦めます



このスタイルは毛量を均等にしたいので毛先ラインに平行にセニングを2度3度入れます

毛先のハネを作りたいので上部の毛を多くとるセニング

毛先のハネを作りたいので上部の毛を多くとるチョップ 注意：ぼかす
チョップでは有りません明確に

